

2回戦

12年秋季リーグ
第7週・10月19日
0勝2敗

今季初の完封負け、

リーグ3位で閉幕

駒大6-8中大

駒大 000 000 000 0
中大 000 100 00X 1

| 【駒大】 | 打安点 |
|------|------|
| ⑦中谷 | 400 |
| ⑧小林 | 300 |
| PH山口 | 100 |
| ⑤下川 | 400 |
| ⑥白崎 | 300 |
| ⑨江越 | 300 |
| ③福山 | 320 |
| DH齋藤 | 300 |
| ②戸柱 | 310 |
| ④砂川 | 300 |
| 計 | 3030 |

▽二塁打=福山、戸柱

| | 回 | 打安責 |
|-----|------|------|
| ●栗林 | 52/3 | 2751 |
| ●今永 | 21/3 | 700 |



【上】5回を5安打1失点にまとめた栗林

【左】チームが3安打に抑えられるなか2安打を放った福山

先発・栗林駿一(経4)は4回、2死二、三塁の危機を迎えると内野安打で先制を許す。打線は8回、戸柱恭孝(現4)が二塁打を放ち好機を演出するが後続が続かず、今季初の完封負けを喫した。これでチームは勝ち点を逃し、リーグを3位で終えた。

「4年間やってきた事を出し切れ」――。

4回裏の危機の場面で、捕手・戸柱は先発・栗林に声をかけた。迎えた相手9番打者への初球、打球は打ち取ったかに思えたが、これが内野安打となり先制点を与えてしまふ。その後は粘り強く投げ6回途中1失点でまとめた。変わった今永昇太(経1)は

「良い意味でリラックスして投げる事が出来た」と、2回1/3を1人の走者も出さず無失点で切り抜けた。

だが、ここまでチーム打率3割を超えている打線がつつながらない。5回、8回には三塁まで走者を進めるが、あ

と1本が出ない。終わってみれば、打線はわずか3安打に抑えられチームは今季初の完封負けを喫した。

この敗戦で秋季リーグの全日程を終え、4年生は引退。最後のシーズンは序盤から打線が爆発し勝ち星を積み重ね、最終週まで優勝争いを演じた。だが、3位という結果に西村亮監督は「それで満足しているようじゃ。もっと突き詰めていかなきゃいけないことはまだまだある。」と語気を強めた。

優勝争いができたこの経験を大いに活かし、来シーズンこそは優勝を狙い「戦国東都」の頂点を奪いに行く。

文〓山本春熙

写真〓池田初、

松井智子